

2020 年度高校向け「文系チャレンジ講座」

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講 義 概 要
1	5/20 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 松岡 輝美	第 5 世代移動通信システム (5G) が生活やビジネスに与える影響	2020 年の春から日本においても 5G サービスが開始されます。5G は高速大容量通信・低遅延・デバイスの多数同時接続を可能にします。スマートフォンが速くなるとか、映画が数秒でダウンロードできるということで身の回りでも実感できるかもしれませんが、そうしたこと以上に我々の生活やビジネスシーンへの幅広い活用が見込まれます。我々の生活面でどのような変化が起こるのか、また企業にとってどのような事業機会が生まれ、自社ビジネスを 5G でいかに進化させていけるかについて先進事例を紹介しながら分かりやすく解説していきます。
2	6/17 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	福祉健康科学部 Langley Raymond	脳と記憶と効果的な学習	人間の記憶は、短期記憶と長期記憶に分かれています。学習とは、新しい知識が、短期記憶から長期記憶に移動し、定着することだとみなされています。この講座では、短期記憶から長期記憶への移行を担う脳の部分、すなわち、「海馬」の話をしてします。さらに、効果的な学習方法について簡単な実験を行い、一緒に調べましょう。また、記憶と人生の関連についても検討します。優れた記憶は人間の特徴の 1 つですが、記憶のメカニズムはまだまだ大きなミステリです。少しでも、そのミステリを一緒に探検しましょう。
3	7/15 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 矢野 英子	「ケルズの書」から英語の歴史を覗いてみよう	「ケルズの書」は、ダブリン (アイルランド) のトリニティー・カレッジに保存されている、世界で一番美しいと言われる聖書写本です。「ケルズの書」には、アイルランド、イギリスからヨーロッパをめぐる宗教の歴史、文字や装飾模様の歴史、神秘的なケルト文化など、“英語”の歴史の背景を知る豊かな要素が詰め込まれています。美しい装飾模様から、当時の人々の暮らしや言葉の世界を覗いてみましょう。
4	8/26 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	教育学部 鄭 敬娥	民主主義は完璧な政治システムなのか？	最近、若者の「政治離れ」が盛んに言われています。それはなぜでしょうか。そして、その行き着く先はどこでしょうか。 本講義では、民主主義の歴史を振り返りながら、「民主主義」の本来の意味合いを考えていきます。そして、ほかの政治制度ではなく、民主主義が今日選ばれている理由、政治に「参画する」ということの意味合い、「参画しない」ことの意味合いを考えてみたいと思います。そうする中で、今日国際社会で求められる「市民像」についても考えてみましょう。

回数	日時・場所	講師名	講義題目	講 義 概 要
5	9/30 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 江原 慶	10 年くらい前のはなし：2008 年世界金融恐慌	10 年ひと昔と云いますね。2008 年なんて、みなさんにとってはひと昔どころか、大昔でしょう。しかし大人になると、時間が経つのが早くなるので、10 年くらいあっという間に過ぎてしまいます。1 年の体感時間は、1 を自分の年齢で割った相対値で決まるのです。ほとんどの大学の先生たちにとって、2008 年はついこの間の出来事です。そのため、大学の先生は、2008 年のことなんて、去年の夏休みぐらいのこのように話します。ですのでこの講義では、そのジェネレーション・ギャップを多少なりとも埋めるべく、2008 年に起きた経済問題について大まかにしゃべろうと思います。
6	11/4 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	福祉健康科学部 飯田 法子	心理学への招待	人の心は目には見えませんが存在しています。皆さんも、なぜ自分は大事な場面で緊張しやすいのだろう、なぜ人を好きになってしまうのだろうなどと、心の不思議さや奥深さを感じたことはあるでしょう。心理学は人の心や行動のプロセスを科学的に明らかにしようとする学問であり、その分野は認知、学習、発達、社会、教育、犯罪、障害、病理など多岐に亘っています。 今回の授業では、日常生活の中で生じる事柄を心理学の視点から眺め、心理学という学問への理解を深めてもらいます。
7	12/16 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	教育学部 森下 覚	「理解」とは何か ー理解することの まなびほぐしー	膨大な情報であふれる社会に生きる私たちは、自覚の有無に関わらず、日々の暮らしの中で学び身につけた知識や価値観をもとにして、目の前の情報を理解しています。こうした理解は、私たちの暮らしを円滑なものにしている一方で、コリとなり、私たちの柔軟性を削ぎ固定的な行為や考え方に固執させてしまう側面を持っています。本講義では、心理学や認知科学の視点から、目まぐるしい速さで変化していく社会に柔軟に対応していくために、「理解すること」をまなびほぐす機会を提供しようと思います。
8	1/27 (水) 16.30-17.30 経済学部 203 号	経済学部 金子 創	制度とは何か？	みなさんは日常的に様々な選択を行っていると思います。休日、友達と遊びに行くか、家で勉強するか、あるいは、何もせずにゆっくりと過ごすか。人々は日々、多くの選択肢に直面しており、またその範囲で自由な意思決定をしています。社会は色々な人々から成り立っていますので、人によってどのような選択を行うかもバラバラのはずですが、その一方で多くの人々が規則的に行動しているような場合もあります。この講座では、人々の行動に規則性をもたらすような制度についての理論的な考え方を紹介します。